🤳 🥨 1・2年の復習

P.8

- 1 (1) ウ (2) ア (3) イ (4) ウ (5) ア
- **2** (1) are, hospitals (2) There, in (3) How many
- **3** (1) played (2) used (3) carried (4) came (5) got (6) began (7) bought (8) had (9) saw
- 4 (1) goes (2) watch (3) likes (4) studies (5) wrote (6) called (7) made (8) said

【解説】

- **2** (2) 「1年は12か月あります。」という文。
 - (3) 「テーブルの上にリンゴがいくつありますか。」という疑問文に。

P.9

- **5** (1) went (2) ① Does, walk ② he does (3) didn't hear
 - (4) ① Did, visit ② she didn't
- **6** (1) making (2) cooking (3) swimming (4) running (5) laughing
- 7 (1) was walking (2) was smiling (3) was writing (4) were watching (5) Were, using
- 8 (1) 1 Eat 2 Don't eat 3 Please eat 4 Let's eat
 - (2) ① Be ② Please be ③ Let's be

【解説】

- **5** (3) heard は hear「~を聞く」の過去形だから、否定文は〈didn't+動詞の原形〉。
- **6** (3)・(4) 〈短母音+子音字〉で終わる語は、子音字を重ねて ing をつける。
- **7** $\langle was[were] + \sim ing \rangle$ の形にする。
- **8** (2) ① be 動詞 (am, are, is など)の原形は be だから、命令文は Be ~. の形になる。

P.10

- $\textbf{9} \quad \textbf{(1) will call} \quad \textbf{(2) will play} \quad \textbf{(3) will be} \quad \textbf{(4)} \quad \textbf{① Will your mother go} \quad \textbf{②} \text{ she will}$
 - (5) won't
- **10** (1) I am going to cook dinner (2) Are you going to eat lunch at the restaurant
 - (3) We are not going to go to the concert.
- 11 (1) Can[Will] you (2) cannot[can't] drink (3) May[Can] I / Sure[OK]
 - (4) Must / have to (5) should (6) Shall I / please (7) like to

- **9** (1) tomorrow「明日」, (2) next Saturday「今度の土曜日」, (3) next week「来週」は未来を表すので, 動詞を〈will+動詞の原形〉の形に。
 - (5) will not の短縮形は won't。
- **10**〈be going to+動詞の原形〉は,あらかじめ決めておいた予定や未来のことを表す。
- **11** (1) Can[Will] you ~? は依頼を表すこともある。Could[Would] you ~? はよりていねいな言い方。
 - (3) May[Can] I ~? は許可を求める表現。肯定の答えは Sure[OK].「いいですよ。」など。
 - (4) Must ~?「~しなければいけませんか。」に対して「~する必要はありません」と答えるときは don't[doesn't] have to ~を使う。mustn't[must not] ~は「~してはいけません」という禁止の表現。
 - (6) Shall I \sim ? 「(私が)~しましょうか」は申し出を表す表現で、答え方は Yes, please. 「はい、お願いします。」/ No, thank you. 「いいえ、結構です。」となる。
 - (7) I'd は I would の短縮形。would like to ~で「~したい(のですが)」。want to ~よりもていねい

P.11

- **12** (1) mustn't (2) Shall we (3) Please sing
- **13** (1) months (2) buses (3) cities (4) watches (5) lives (6) boys
 - (7) children (8) pianos (9) boxes
- **14** (1) a / The (2) \times (3) the, \times
- **15** (1) Those (2) mine (3) him (4) their
- **16** (1) ウ (2) エ (3) イ (4) ウ
- **17** (1) イ (2) ウ (3) イ (4) イ

【解説】

- **12** (1) mustn't ~は禁止を表す。 (2) Shall we ~? で「(私たちは)~しましょうか。」。
- **13** (8) o で終わる語は、tomato → tomatoes のように es をつけるものと、piano → pianos のように s のみをつけるものがある。
- **14** (1) 1 度話題に出た名詞を 2 度目に使うときは the をつける。
- **15** (1) this の複数形は these, that の複数形は those。
 - (2) mine は「私のもの」の意味。ここでは、mine = my bike。
- 16 (1) 形容詞は、説明する名詞に関連の深いものほど、名詞の近くに置く。→「新しい+英語の+本」
 - (2) 〈副詞 (very) +形容詞 (high) +名詞 (mountains)〉の語順。
 - (3) always「いつも」, sometimes「ときどき」などの頻度を表す副詞は, ふつう① 一般動詞の文では一般動詞の直前に, ② be 動詞・助動詞の文では be 動詞・助動詞の直後に入れる。
 - (4) 場所・時・様態などを表す副詞は、ふつう〈動詞(+目的語)〉のあとに置く。
- **17** many, a few, few は数えられる名詞に, much, a little, little は数えられない名詞につく。 (3)・(4) a little[a few]は肯定に重点を置いて「少し~ある」, little[few]は否定に重点を置いて「ほとんど~ない」。

P.12

- **18** (1) hotter (2) tallest (3) earlier (4) more beautiful (5) kind
- **19** (1) shorter (2) best, player (3) as large as (4) better than
- **20** (1) better than (2) younger, or (3) larger[bigger], or (4) the best
- **21** (1) player (2) has (3) to (4) call[named]

- **18** $(1) \cdot (3) \cdot (4)$ 〈比較級+than ...〉で「…よりも~」という文。
 - (2) \(the+最上級+of[in] ... \) で「…の中で最も~」という文。
 - (5)「淳は亮と同じくらい親切です。」という文。
- **19** (1)「4月は2月より長いです。」→「2月は4月より短いです。」
 - (3) not as \sim as ... で「…ほど \sim でない」。「あなたの家は私の家より大きいです。」 \rightarrow 「私の家はあなたの家ほど大きくありません。」
 - (4)「父は母ほどうまく歌うことができません。」→「母は父よりうまく歌うことができます。」
- **20** (1) like ~ better than ... で「…よりも~が好きだ」。
 - $(2)\cdot(3)$ \langle Who [Which] is+比較級, A or B? \rangle $\lceil A$ \lor B ではどちらのほうが~ですか。」は、ふつう、人の場合は who、ものの場合は which を使う。
 - (4) like ~ the best で「~がいちばん好きだ」。

- **21** (1) 第3文型「野球をする」→第2文型「野球の選手である」
 - (2)「…に~がある」→「…は~を持っている」
 - (3) 第4文型と第3文型の文。〈give+人+物〉(第4文型)=〈give+物+to+人〉(第3文型)「(人)に(物)を与える」
 - (4)「その猫の名前はトラです。」 \rightarrow 「私たちはその猫をトラと呼んでいます[名づけました]。」 〈call+A+B〉「A を B と呼ぶ」、〈name+A+B〉「A を B と名づける」(第 5 文型)

P.13

- **22** (1) is washed (2) were written (3) was built (4) isn't used
- **23** (1) to be[become] (2) to study[learn] (3) to give (4) to work
- **24** (1) Did John begin to talk about his family?
 - (2) went to the park to practice soccer
 - (3) to the store to buy a book about animals
 - (4) always has a lot of things to do
 - (5) give me something hot to drink

【解説】

- **22** (1)「~される」は〈be 動詞+過去分詞〉の形。
 - (2) 主語が複数で過去の文なので、be 動詞は were。
 - (3) build の過去分詞は built。
 - (4) 受動態の否定文は〈be 動詞+not+過去分詞〉の形。
- 23 (1) 名詞的用法。
 - (2) 副詞的用法(目的)。
 - (3) 形容詞的用法。〈to+動詞の原形〉が前の代名詞を修飾している。
 - (4) 〈感情を表す語+to~〉で「~して…だ」(原因・理由を表す副詞的用法の不定詞)。
- **24** (5) something to drink で「飲むための何か,何か飲み物」。~thingの語を修飾する形容詞は ~thingのあとに置くので、〈~thing+形容詞+to+動詞の原形〉の語順になる。

P.14

- **25** (1) collecting (2) enjoyed playing (3) To read (4) to rain (5) teaching
- **26** (1) staying (2) to make (3) changing (4) writing (5) talking (6) to start
- **27** (1) Who (2) Where (3) When (4) How old (5) What time (6) Why (7) How

- **25** (1) like to ~= like ~ing「~するのが好きだ」
 - (2) enjoy ~ing で「~して楽しむ」。
 - (3)・(5) 名詞的用法の不定詞と動名詞は、文の主語・補語にもなる。
 - (4) begin to ~ = begin ~ing「~し始める」
- **26** (1) enjoy, (4) finish の目的語には動名詞を, (2) want の目的語には不定詞を使う。
 - (3) How about ~ing? は「~してはどうですか。」と提案・勧誘を表す表現。前置詞のあとでは動詞は~ing 形になる。
 - (5) $stop \sim ing$ で「 \sim することをやめる」という意味。 $stop to \sim$ は「 \sim するために立ちどまる」という意味になる。
 - (6) need to ~「~する必要がある」
- **27** (1)「だれが」 (2)「どこに」 (3)「いつ」 (4)「何歳」 (5)「何時に」 (6)「なぜ」 (7)「どうやって」

P.15

- **28** (1) isn't it (2) doesn't he (3) Yes, do (4) No, doesn't
- **29** (1) when (2) if (3) because (4) but (5) that (6) while (7) after
- **30** (1) ウ (2) イ (3) ウ (4) ウ (5) ア (6) イ (7) イ (8) ウ (9) ウ (10) ウ

- **28** (1)・(2) 付加疑問は, (1) be 動詞の肯定文には〈be 動詞の否定の短縮形+主語(代名詞)?〉, (2) 一般動詞の肯定文には〈don't [doesn't, didn't]+主語(代名詞)?〉。
 - (3)・(4) 日本語の「はい」、「いいえ」にまどわされずに、そのあとの内容で判断する。
 - (3)「知っています」は肯定なので、Yes。
 - (4)「使いません」は否定なので, No。
- **30** (1)・(2)「~に」と時を表す前置詞は、〈at+時刻〉、〈on+曜日、日付〉、〈in+年、月、季節〉を使い分ける。
 - (3) leave A for B 「B へ向けて A を出発する」
 - (4) during ~「~(の期間)に」
 - (5) until $\sim \lceil \sim \sharp \tau(f \circ b) \rfloor$
 - (6) from A to $B \lceil A \gg B$ $\sharp \mathcal{C} \rfloor$
 - (7) across ~「~を横切って」
 - (8) on $\sim \lceil \sim (\mathfrak{O} \perp) \iota \iota$, $\sim \iota \iota \iota$ (接して)」
 - (9) between A and B「AとBの間に」
 - (10) 〈in+言語名〉「~語で」